

人相学では「不倫に注意!」とかで——夫婦円満のため? 選挙に勝つため!?

発見撮 丸川珠代「左眼の泣きボクロ」が消えた理由

参議議員

参議院議員の丸川珠代氏(37)と言え、人気番組「TVタックル」のMCを務めていた頃から、知的なクールビューティとして人気を博していた。そのチャームポイントを挙げれば、あの左眼の下にあるSMILEYなホクロ、通称「泣きボクロ」だったのでないだろうか。

ところが、丸川議員のトレードマーク(っ)だったはずのこのホクロが、

実はいつの間にか消えていたのである。

左は、11月11日に永田町で本誌が撮影した丸川氏だ。以前に比べ、何が顔がスツキリしているなあ、と思っている、とよく見れば、あの魅力的な泣きボクロが消滅しているのではないか。

うかつにも、そのことをまったく認識していなかった本誌は、いったんいつ、丸川氏の顔からホクロが消えたのかチェ

ックしてみた。左ページの写真は、去年の参院選前、選挙運動を展開している頃の丸川氏だ。この時には、見慣れたあのホクロがはつきりと左眼下にある。その後、今年初めに国会周辺で撮影した写真にも、ホクロは確かにあった。

しかし……。今年6月、丸川氏は自民党同僚議員の大塚拓氏と結婚した。挙式の日国会の会期中、加えて秋葉原で無

差別殺傷事件が起きた1週間後だったこともあり、「KY挙式」などと物議を醸したことは記憶に新しい。この日、ウエディングドレスを着て幸せそうに微笑む丸川氏の表情を見ると、すでにこの時、ホクロは見えなくなっている。つまり、結婚の時期に、あのチャームポイントのホクロが消えてしまっただけだ。

政治家にとって、「顔」というのは非常に重要である。一般有権者と違い、政治家は、いかに自分の顔を覚えてもらうかが大事。名前と同時に、「顔」を覚えてもらい、選挙で少しでも多くの票を集め、当選を果たしてこそ、講れて国政などの場で活躍することができるのである。

丸川氏の場合、以前からホクロがトレードマークとして知られていた。つまり、アレこそ政治家・丸川珠代の顔だった部分もあるのだ。そんな大事なホクロを、なぜ、消してしまっただろうか。

実は、「一般論」として、丸川氏の左眼下にあったホクロは、「人相学」上、「不幸」の象徴だったという。人相学に詳しい人相研究家の竹村亞希子氏は語る。

「丸川さんのホクロがあった位置は、人相学的には『臥室』という場所で、本来は『子孫』を司る場所です。ここにホクロがあるというのはあまり良いことではありません。基本的には、『子宝に恵まれない』という運勢を意味しています。加えて丸川さんの場合、そのホクロは表面が盛り上がりやす、輪郭もぼやけた、いわゆる『死にボクロ』のようでした。」



▲11月11日に撮影した丸川氏。左眼の下にあったトレードマークがなくなっている

好評発売中!

引退記念 番長伝説

1985~2008



講談社 ● 定価1300円(税別)



▲丸川氏と、夫の大塚拓代議員。次回の総選挙は大丈夫？

たとすると女性的場合、それは「不倫に縁がある」ということを示唆しています。特に若い頃、不倫をしがちである運勢を暗示しているのです。

もともと政治家は、選挙などで、威風凛々や「ジंकウス」などを非常に気にする職業だ。しかも丸川氏は、大塚氏と婚約する直前まで、有名企業の若社長と交際していたことも知られており、そうした「過

去」と決別するため、威風の悪いホク口を消したのではないのか？ 本誌は、この「消えたホク口」について、丸川氏の事務所に質問状を送って取材を求めたが、締め切りまでに回答は得られなかった。結果としては、「生まれ変わった」はずの丸川氏、今後、大塚氏とも、国政の場で有権者のために尽力することを期待したいが……前出・竹村氏は、それでもまだ不安要素があるといい。

丸川さんの生年月日(71年1月19日)から占うと、来年(09年後半)から、2010年、2011年は注意が必要ですよ。仕事も夫婦関係もです。もともと男性との縁が強い運勢の方ですから、ホク口を消したとはいえ、この時期は特別なことをせず、守りの姿勢、がいいと思います。

単なる偶然だろうが、永田町では自民党の都合で解散が先延ばしされ、総選挙が来年後半に又し込む可能性が出てきている。丸川氏の夫・大塚氏は、埼玉9区で出馬予定だが、苦戦が予想されている。政治家の「命」に等しい顔の一面を変えてまで清張っているのだから、苦難を乗り越えて国民のために働いてほしい。